

お家でできるメモリーストーク

～郷土資料を使った思い出の時間旅行～

突然ですが、旅行はお好きでしょうか。普段目にできないものを見たり、おいしいものを食べたり、素晴らしい体験ができる旅行が好きな方も多いのではないのでしょうか。

しかし、今はコロナ禍でなかなか外出もできず、家にいる時間が増えているかと思えます。そこで、家族みんなでお家の中でもできる旅行。思い出の中での時間旅行はいかがでしょうか。

1. 「思い出」を郷土資料で語るということ

思い出を語るというと、アルバムなどの写真をイメージするかもしれませんが、ちょっと違った、モノに関係する思い出から話題を作ってみませんか？ここでいうモノとは普段押し入れの奥にしまってある古い道具や、郷土資料のことを指しています。

写真も良いですが、モノに関係する思い出をお勧めする理由は、写真と違い実際に触ることができるということ。実際にモノに触っていると様々な思い出につながりやすいからです。

2. モノは思い出の証人

実践してみましょう。

①家族で集まる（様々な年代の方がいればより良い） → 例：祖父母、両親、子ども

②最近使ってないなというモノを用意する。 → 例：メンコ

③用意したモノに関係しそうなことをテーマに決める。 → 例：昔の遊び

④メモリーストークスタート！

→ 例：メンコで遊んだ。よく飛ばすためにメンコの縁にろうそくのろうを塗った。誰か君とよく勝負した。その子とはベゴマでもよく遊んだ。など話を広げていきましょう。

⑤話題が続かなくなったら終わり！

→ また②に戻って新しいモノを用意してもいいですし、実際にそのモノを使ってみてもいいかもしれません。

3. まとめ

モノには、必ずそれに伴う記憶があります。上に出した遊びの例以外でも、「黒電話で友達の家にかけるとき誰が出るかわからずドキドキした」「薪ストーブで暖をとる際その上でお餅を焼いた」という、今ではなかなかできなくなった経験をされた方もいるのではないのでしょうか。

見向きもされず捨てられるモノは、ごみになってしまい、歴史や記憶を語る助けになるモノは郷土資料となります。たまには古いモノを囲み、家族団らんのメモリーストークに花を咲かせてみてはいかがでしょうか。

教育委員会では、沼田町に保存されている郷土資料をブログにて公開しています。これを話題の種にして、思い出の時間旅行をしてみてくださいはいかがでしょうか。

お問い合わせ … 沼田町教育委員会（電話 35 - 2132）

○教育委員会「ブログ」随時更新中○ URL: <https://blog.canpan.info/numakyoui/>

